

# 平成28事業年度財務諸表の概要



# 目次

1.	平成28事業年度決算のポイント	1
2-1.	資産及び負債の状況	2
2-2.	純資産の状況	3
3-1.	法人全体の損益状況	4
3-2.	奨学金貸与事業の損益状況	5
3-3.	留学生支援事業の損益状況	6
3-4.	学生生活支援事業の損益状況	7
4.	キャッシュ・フローの状況	8
5.	行政サービス実施コストの状況	9

注)単位未満は四捨五入のため、合計額が一致しない場合がある。

# 1. 平成28事業年度決算のポイント

第三期中期目標期間(平成26年度～平成30年度)3年目の決算であり、独立行政法人会計基準に則った経理処理等により財務諸表を作成。

## ◆ 貸与規模の拡大に伴う資産及び負債の増

主に奨学金貸与事業の着実な実施に加え、規模の拡大に伴う貸付金の増及び資金調達に係る借入金等の増を要因として、資産及び負債はいずれも増加。

## ◆ 返還金の回収促進等により当期総利益63億円を計上

奨学金債権の返還金回収をより適切に促進したこと等に伴い、機構設立前に貸与した奨学金に係る貸倒引当金の要引当額が減少したことによる利益60億円等により、当期総利益63億円を計上。

## ◆ 不要財産(国際交流会館)の譲渡及び譲渡収入の国庫納付

「独立行政法人の事務・事業見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を受け、平成27年度に譲渡譲渡した大分国際交流会館について、譲渡収入7,677万円から譲渡費用を控除した7,116万円を平成28年度に国庫納付。

また、平成28年度に譲渡した福岡国際交流会館について、譲渡収入643万円のうち譲渡費用を控除した621万円を国庫納付。

# 2-1. 資産及び負債の状況

**流動資産：9兆2,112億円(対前年度 +2,749億円)**

奨学金貸与事業の規模の拡大に伴う貸付金の増等による。

**固定資産：1,717億円(対前年度 △ 117億円)**

後年度に国から財源措置を受ける未収財源措置予定額の減等による。



**資産合計：9兆3,829億円(対前年度 +2,632億円(2.9%))**

**流動負債：1兆 233億円(対前年度 △ 256億円)**

一年以内に償還及び返済予定の日本学生支援債券及び長期借入金の減等による。

**固定負債：8兆2,877億円(対前年度 +2,838億円)**

長期借入金のうち財政融資資金借入金の増及び日本学生支援債券の減等による。



**負債合計：9兆3,110億円(対前年度 +2,583億円(2.9%))**

(単位：億円)

区分	27年度	28年度	増減
資産の部			
I 流動資産	89,362	92,112	2,749
現金及び預金	1,519	1,668	149
貸付金	87,515	90,100	2,585
第一種学資金	25,792	26,419	628
第二種学資金	62,590	64,434	1,843
貸倒引当金	△ 867	△ 753	114
有価証券	310	310	0
その他の流動資産	18	34	16
II 固定資産	1,834	1,717	△ 117
1.有形固定資産	381	364	△ 18
2.無形固定資産	74	88	14
3.投資その他の資産	1,379	1,266	△ 113
投資有価証券	157	128	△ 29
破産再生更生債権等	850	940	90
貸倒引当金	△ 848	△ 937	△ 89
未収財源措置予定額	1,219	1,134	△ 85
資産合計	91,197	93,829	2,632
負債の部			
I 流動負債	10,488	10,233	△ 256
一年以内償還予定日本学生支援債券	1,800	1,700	△ 100
一年以内返済予定長期借入金	8,502	8,348	△ 154
未払費用	71	64	△ 7
その他流動負債	115	120	5
II 固定負債	80,039	82,877	2,838
日本学生支援債券	1,700	1,200	△ 500
長期借入金	78,271	81,597	3,326
その他固定負債	68	80	12
負債合計	90,527	93,110	2,583

## 2-2. 純資産の状況

**資本金: 1億円(対前年度 増減なし)**

機構設立時に政府から出資されたものであり、  
設立以来増減はなく、当年度においても1億円を計上。

**資本剰余金: 348億円(対前年度 △13億円)**

福岡国際交流会館の売却に伴う資本剰余金の減等による。

**利益剰余金: 371億円(対前年度 +63億円)**

前年度利益処分による積立金の増及び当期総利益の計上による。



**純資産合計: 719億円(対前年度 +50億円(7.4%))**

(単位:億円)

区分	27年度	28年度	増減
純資産の部			
I 資本金	1	1	-
政府出資金	1	1	-
II 資本剰余金	361	348	△ 13
資本剰余金	△ 96	△ 101	△ 5
損益外減価償却累計額	△ 131	△ 139	△ 8
民間出えん金	587	587	-
II 利益剰余金	308	371	63
前中期目標期間繰越積立金	180	180	-
積立金	54	128	74
当期未処分利益	74	63	△ 11
(うち当期総利益)	74	63	△ 11
純資産合計	670	719	50

# 3-1. 法人全体の損益状況

## 経常費用：945億円(対前年度 △50億円)

学資金貸与業務費のうち、奨学金の財源である借入金に係る支払利息の減及び返還免除損の減等による。

## 経常収益：989億円(対前年度 △45億円)

第二種学資金に係る学資金利息の減及び財源措置予定額収益の減等による。

## 経常利益：44億円(対前年度 + 5億円)

上記により、44億円の経常利益を計上。

## 臨時利益：19億円(対前年度 △16億円)

返還金の回収促進等による貸倒引当金戻入益を計上。



## 当期総利益：63億円(対前年度 △11億円)

機構設立前に貸与した奨学金に係る貸倒引当金の要引当額が減少したことによる利益60億円等により、63億円を当期総利益として計上。

(単位：億円)

区分	27年度	28年度	増減
経常費用	994	945	△ 50
業務費	972	922	△ 50
学資金貸与業務費	809	753	△ 57
留学生支援業務費	159	166	7
学生生活支援業務費	3	3	△ 1
一般管理費	23	23	0
経常収益	1,034	989	△ 45
運営費交付金収益	110	115	4
学資金利息	387	374	△ 13
延滞金収入	39	40	1
国庫補助金収益	84	87	4
政府補給金収益	58	87	29
財源措置予定額収益	314	239	△ 75
その他収益	39	44	5
財務収益	3	2	△ 1
経常利益	39	44	5
臨時利益	35	19	△ 16
当期総利益	74	63	△ 11

## 3-2. 奨学金貸与事業の損益状況

### 事業費用：753億円(対前年度 △57億円)

奨学金の財源である借入金に係る支払利息の減及び返還免除損の減等による。

### 事業収益：795億円(対前年度 △55億円)

第二種学資金に係る学資金利息の減及び財源措置予定額収益の減等による。

### 事業利益：42億円(対前年度 + 2億円)

上記により、42億円の事業利益を計上。

### 臨時利益：18億円(対前年度 △16億円)

返還金の回収促進等による貸倒引当金戻入益を計上。



### 当期総利益：61億円(対前年度 △14億円)

機構設立前に貸与した奨学金に係る貸倒引当金の要引当額が減少したことによる利益等により、61億円を当期総利益として計上。

(単位：億円)

区分	27年度	28年度	増減
事業費用	809	753	△ 57
学資金貸与業務費	809	753	△ 57
支払利息	366	328	△ 37
返還免除損	358	333	△ 25
その他費用	86	91	6
事業収益	849	795	△ 55
運営費交付金収益	38	40	2
学資金利息	387	374	△ 13
延滞金収入	39	40	1
国庫補助金収益	3	4	1
政府補給金収益	58	87	29
財源措置予定額収益	314	239	△ 75
その他収益	8	8	0
財務収益	3	2	△ 0
事業損益	40	42	2
臨時損益	34	18	△ 16
当期総利益	74	61	△ 14

# 3-3. 留学生支援事業の損益状況

## 事業費用: 166億円(対前年度 +7億円)

留学生学資金支給業務費における、留学生交流支援事業経費及び官民協働海外留学支援制度の事業規模の拡大等の増による。

## 事業収益: 167億円(対前年度 +9億円)

上記事業規模の拡大による国庫補助金収益及びその他事業収入の増による。

## 事業利益: 1億円(対前年度 +2億円)

上記により、1億円の事業利益を計上。



## 当期総利益: 1億円(対前年度 +2億円)

上記要因により、1億円を当期総利益として計上。

(単位:億円)

区分	27年度	28年度	増減
事業費用	159	166	7
留学生学資金支給業務費	131	138	7
留学生寄宿舎運營業務費	9	9	0
留学試験業務費	5	5	1
日本語予備教育業務費	7	6	△ 1
留学生交流推進業務費	7	7	△ 0
事業収益	158	167	9
運営費交付金収益	48	50	1
留学生宿舎収入	7	6	△ 0
日本語学校収入	3	3	0
日本留学試験検定料収入	4	5	1
国庫補助金収益	80	83	3
その他事業収益	16	20	4
事業損益	△ 1	1	2
当期総損益	△ 1	1	2



# 3-4. 学生生活支援事業の損益状況

**事業費用:** 3億円(対前年度 △ 1億円)

研修・情報提供業務費の減による。

**事業収益:** 3億円(対前年度 △ 1億円)

運営費交付金収益及びその他収益の減による。

**事業利益:** 0.2億円(対前年度 △0.2億円)

上記により、0.2億円を事業利益として計上。



**当期総利益:** 0.2億円(対前年度 △0.2億円)

上記要因により、0.2億円を当期総利益として計上。

(単位:億円)

区分	27年度	28年度	増減
事業費用	3	3	△ 1
研修・情報提供業務費	2	1	△ 1
修学環境等調査研究業務費	1	1	0
事業収益	4	3	△ 1
運営費交付金収益	4	3	△ 1
国庫補助金収益	0	-	△ 0
その他収益	0	0	0
事業損益	0	0	0
当期総利益	0	0	0

# 4. キャッシュ・フローの状況

業務活動によるキャッシュ・フロー: 150億円(対前年度 +149億円)

返還金の回収促進に伴う学資金の回収の増等による  
資金の増。

投資活動によるキャッシュ・フロー: 7億円(対前年度 △303億円)

有価証券の償還による収入の減等による資金の減。

財務活動によるキャッシュ・フロー: △7億円(対前年度 △ 3億円)

リース債務の返済が当年度平準化されたことによる  
支出の増等による資金の減。

資金増加額 : 149億円(対前年度 △157億円)

上記により、前年度から149億円の資金の増。



資金期末残高: 1,668億円(対前年度 +149億円)

(単位:億円)

区分	27年度	28年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1	150	149
人件費支出	△ 44	△ 44	△ 1
学資金の貸付による支出	△ 10,638	△ 10,465	173
借入金の返済等による支出	△ 65,712	△ 54,976	10,736
補助金等収入	290	299	8
学資金の回収による収入	7,083	7,566	483
借入等による収入	69,141	57,885	△ 11,256
自己収入等	469	454	△ 14
その他収入・支出	△ 589	△ 570	20
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	309	7	△ 303
有価証券の取得による支出	△ 300	△ 281	19
有価証券の償還による収入	620	310	△ 310
その他収入・支出	△ 11	△ 22	△ 12
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4	△ 7	△ 3
リース債務の返済による支出	△ 4	△ 7	△ 3
その他支出	-	△ 1	△ 1
IV 資金に係る換算差額	-	-	-
V 資金増加額	306	149	△ 157
VI 資金期首残高	1,213	1,519	306
VII 資金期末残高	1,519	1,668	149

# 5. 行政サービス実施コストの状況

**業務費用** : 473億円(対前年度 △28億円)

支払利息の減等による減。

**損益外減価償却相当額** : 9億円(対前年度 △ 2億円)

前年度限りで耐用年数が終了した固定資産が生じたこと等による減。

**損益外除売却差額相当額**: 4億円(対前年度 △20億円)

固定資産の除売却差額による減。

**機会費用** : 51億円(対前年度 +11億円)

無利子融資取引の増等による増。



**行政サービス実施コスト: 542億円(対前年度 △34億円)**

(単位:億円)

区分	27年度	28年度	増減
I 業務費用	501	473	△ 28
損益計算書上の費用	995	945	△ 50
(控除)自己収入等	△ 472	△ 471	22
II 損益外減価償却相当額	11	9	△ 2
III 損益外減損損失相当額	-	0	0
IV 損益外除売却差額相当額	24	4	△ 20
V 引当外賞与見積額	0	0	0
VI 引当外退職給付増加見積額	0	4	4
VII 機会費用	40	51	11
VIII (控除)国庫納付額	△ 0	△ 0	0
IX 行政サービス実施コスト	576	542	△ 34